

10	10月26日(金) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時30分	全員 主催:RM全体委員会、教育研修関連RM小委員会	1. 医療人としての接遇 講師 大塚宜一(小児科・思春期科准教授、外来医長代表) 2. 輸血RM小委員会 委員長 仙石博信(大腸・肛門外科准教授) 3. 感染性心内膜炎対策について 講師 山田京志(循環器内科助教)、堀賢(感染対策室長) 4. 高濃度塩化カリウム(KCL)注射薬の医療事故防止 講師 原田好子(薬剤部主任)	388人
11	11月19日(月) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時30分	全員 主催:RM全体委員会、教育研修関連RM小委員会	1. 医療人としての接遇 講師 大塚宜一(小児科・思春期科准教授、外来医長代表) 2. 消化器系臓器別経験的治療マニュアル 講師 大草敏史(消化器内科准教授)、崔仁煥(消化器内科准教授) 3. 静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓、肺血栓塞栓症)予防マニュアルについて 講師 川崎志保理(医療安全管理室長) 4. 高濃度塩化カリウム(KCL)注射薬の医療事故防止 講師 原田好子(薬剤部主任)	495人
12	1月9日(水) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時30分	全員 主催:RM全体委員会、教育研修関連RM小委員会	1. 医薬品安全研修会 「血漿分画製剤の適正使用について」 講師 室岡邦彦(薬剤部係長) 2. 医療安全研修会 「次期医療情報システムについて — リスクマネジメント その1 —」 講師 菊池 盤(産科・婦人科准教授) 3. 医療安全研修会 「各RM小委員会報告」 臨床検査RM小委員会 委員長 近藤 裕(臨床検査部主任) 4. 感染対策研修会 「小児のインフルエンザ対策について」 講師 久田研(小児科・思春期科助教、ICD) 3. 医療機器安全研修会 「当院に設置された除細動器」 講師 鈴木廣美(臨床工学室技士長)	498人
13	1月24日(木) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時30分	全員 主催:RM全体委員会、教育研修関連RM小委員会	1. 医薬品安全研修会 「血漿分画製剤の適正使用について」 講師 小嶋伸二(薬剤部主任) 2. 医療安全研修会 (1)「次期医療情報システムについて — リスクマネジメント その2 —」 講師 菊池 盤(産科・婦人科准教授) (2)「腎性全身性線維症とその対策」 講師 尾崎 裕(放射線科医局長・准教授) 3. 個人情報保護研修会 個人情報保護RM小委員会 講師 田村剛(副個人情報保護管理者、小児外科・小児泌尿生殖器外科助教) 4. 感染対策研修会 QFT-TB(結核補助診断法)について 講師 堀 賢(感染対策室長)	494人
14	2月1日(金) (有山記念館講堂)	全員 主催:RM全体委員会、教育研修関連RM小委員会	「対話を重視した質の改善 ～静岡がんセンターの事例」 1. Quality Improvementの取り組み 静岡県立静岡がんセンター マネジメントセンター 企画・広報担当 丸茂江以子 2. 医療安全管理の実際 静岡県立静岡がんセンター 副看護部長 鶴田清子	156人
15	2月28日(木) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時30分	全員 主催:RM全体委員会、教育研修関連RM小委員会	1. 医薬品安全研修会 「血漿分画製剤の適正使用について」 講師 小嶋伸二(薬剤部主任) 2. 医療安全研修会 (1)「次期医療情報システムについて — リスクマネジメント その3 —」 講師 菊池 盤(産科・婦人科准教授) (2)「腎性全身性線維症とその対策」 講師 尾崎 裕(放射線科医局長・准教授) 3. 個人情報保護研修会 個人情報保護RM小委員会 4. 感染対策研修会 QFT-TB(結核補助診断法)について 講師 堀 賢(感染対策室長)	252人

	3月5日(水) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時30分	全員 主催:RM全体委員会、教育研修関連RM小委員会	1. 医療安全研修会 (1)「救急医療について」 講師 射場敏明(救急科教授) (2)「健康診断を受けましょう —今年から健診が変わります—」 講師 渡邊育海(健康管理室係員) (3)「次期医療情報システムについて — リスクマネジメント その3 —」 講師 菊池 盤(産科・婦人科准教授) 3. 医療機器安全研修会 「除細動器のしくみ」 講師 鈴木廣美(臨床工学室技士長)	226人
17	3月17日(月) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時30分	全員 主催:RM全体委員会、教育研修関連RM小委員会	1. 医療安全研修会 (1)「健康診断を受けましょう —今年から健診が変わります—」 講師 渡邊育海(健康管理室係員) (2)RM小委員会報告 褥瘡RM小委員会 講師 石田弘美(がん治療センター主任) (3)「次期医療情報システムについて — リスクマネジメント その4 —」	181人

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1) 院内感染に関する基本的な考え方 2) 感染対策委員会の組織に関する基本的事項 3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6) 患者等に対する当院の院内感染対策指針の閲覧に関する基本方針 7) その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : 月ごとに情報を処理し、以下の活動を実施 <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院内で発生した感染症の分布とその対応について、院内ガイドライン・マニュアルに従い、染対策室からの現場指導を受けながら、有効性の確認や検証を実施 2) 針刺し切創について、院内の届け出書の集計結果を基に改善策を検討 3) MRSA院内伝播数に応じて感染対策の実施と徹底を主体的に促すシステムを運営 (レベルゼロシステム) 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <p>「標準予防策の徹底」「順天堂医院におけるMRSA感染対策」「インフルエンザ感染防止」「結核感染防止」など、感染対策の基本動作を中心に、患者一職員間での伝播のリスクが高いものに焦点を当てて開催。 また、インフルエンザや麻疹など、季節性や時事の話題性のある疾患について適宜取り上げて注意を促している。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1) 選択的MRSA保菌者のスクリーニング検査 2) 現場主導型のMRSA感染対策活動 (レベルゼロシステム) 3) MDROサーベイランスとアウトブレイク対応 4) BSIサーベイランスと改善の取り組み 5) 抗菌薬委員会と連携した抗菌薬処方の適正化活動 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none"> • 研修の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> • 改正医療法について • 日本医療マネージメント学会報告 • 日勤教育と薬剤部のリスク管理 • 学会報告：アルブミン製剤の適正使用に向けての薬剤部の取り組み • 学会報告：ヒヤリハットの事例報告の簡便化と情報の活用 • フィブリノゲン製剤報道に関する対応について • 医療安全と血漿分画製剤の適正使用 • 大規模臨床試験について • 改正医療法と医薬品の安全管理 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> • 手順書の作成 ((有)・無) • 業務の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> • 医薬品の採用、購入、管理業務 • 調剤業務 • 製剤業務（無菌、一般） • 服薬指導業務 • 医薬品情報業務 • 医療安全管理業務 • 教育業務 • 研修業務 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> • 医薬品に係る情報の収集の整備 ((有)・無) • その他の改善のための方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> • 院内通知 • 副作用情報収集 • 診療科と情報の共有 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(<input checked="" type="radio"/> 有・無)
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 33 回
<ul style="list-style-type: none"> • 研修の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 新規導入人工呼吸器について シリンジポンプの特徴と安全性について 臨床工学室ME 勉強会 他 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> • 計画の策定 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) • 保守点検の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 保育器定期点検 人工呼吸器定期点検 シリンジポンプ輸液ポンプ点検 他 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> • 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有・無) • その他の改善の方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 「輸液ポンプの流量設定について」 「LTVディスポ呼吸器回路の自主回収について」 「人工呼吸器作動停止について」 「輸液セットの滴数変更について」 他 	